

かつやま 9月定例会報告

# 議会だより

2023.10.26

No.89

新組織紹介……………P 2  
一般質問……………P 3  
委員会報告……………P 9  
審議結果……………P11



勝山市議会第18期の顔ぶれ

# 市議会組織紹介

9月臨時会・定例会において、正副議長及び委員会の委員と一部事務組合議会の議員が決まりました。

## 議長



**下牧 一郎**  
(しもまき いちろう)  
荒土町細野口

下牧一郎議長は市議当選3回目  
で、総務文教厚生委員長、議会運営  
委員長などを歴任されました。

## 副議長



**近藤 栄紀**  
(こんどう よしき)  
北郷町伊知地

近藤栄紀副議長は市議当選3回目  
で、総合計画特別委員長、建設産業  
委員長などを歴任されました。

## 委員会

市の仕事は幅広く、複雑で専門的になつていきます。そこで、専門的・能率的に詳しく審査するため、予備的審査・調査機関として、委員会が設置されています。本市議会には、常任、議会運営、特別の3種類の委員会があります。

### 常任委員会

本市議会には3つの常任委員会があり、分担して関係する議案等を審査します。

#### ●総務文教厚生委員会（7人）

未来創造課、総務課、財政課、市民課、福祉課、健康体育課、会計課、消防本部、議会事務局、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会に関する事項並びに他の常任委員会に属しない事項を所管します。

- ◎ 安岡 孝一 下牧 一郎
- 森 かよ子 近藤 栄紀
- 浦上 雄次 丸山 忠男
- 竹内 和順

#### ●建設産業委員会（7人）

商工文化課、農林課、建設課、営繕課、上下水道課及び農業委員会に関する事項を所管します。

- ◎ 下道 恵子 松山 信裕
- 吉田 将克 帰山 寿憲
- 李 江風 山田 安信
- 富士根信子

#### ●予算委員会（全議員）

一般会計予算議案の審査を所管します。

- ◎ 帰山 寿憲
- 山田 安信
- 他 全議員

#### ●議会運営委員会（6人）

議会の運営に関する事項を所管します。

- ◎ 竹内 和順 下道 恵子
- 浦上 雄次 松山 信裕
- 森 かよ子 帰山 寿憲

#### ●特別委員会

9月定例会で次の特別委員会を設置しました。

#### ●議会広報特別委員会（5人）

議会だよりの編集や議会の広報全般に関する事項を所管します。

- ◎ 丸山 忠男 浦上 雄次
- 李 江風 富士根信子
- 吉田 将克

#### ●決算特別委員会（6人）

決算に関する事項を所管します。

- ◎ 山田 安信 森 かよ子
- 李 江風 下道 恵子
- 吉田 将克 帰山 寿憲

#### ●新中学校建設特別委員会（全議員）

新中学校建設に関する事項を所管します。

- ◎ 松山 信裕
- 森 かよ子
- 他 全議員

#### 大野・勝山地区広域行政事務組合 議会議員（5人）

- 李 江風 竹内 和順
- 安岡 孝一 山田 安信
- 富士根信子

#### 勝山・永平寺衛生管理組合 議会議員（5人）

- 吉田 将克 近藤 栄紀
- 浦上 雄次 帰山 寿憲
- 森 かよ子

#### 福井県後期高齢者医療広域連合 議会議員（1人）

- 下牧 一郎

※◎は委員長、○は副委員長



# ○ 県立恐竜博物館の地元の安全安心について ○ 勝山市庭球場の暑さ対策について



安岡孝一 議員  
新風会・公明

### その他の質問

- ・ピロリ菌の検査について
- ・国民健康保険税の納税通知書の送付時期と納期限について
- ・スマホで使える障害者手帳アプリについて

**議** 県立恐竜博物館はリニューアルオープン後、大変な賑わいをみせている。全国の観光地では、インバウンド観光が加わり、オーバーツーリズムが問題化している。博物館でも渋滞を避けようと、五本寺、黒原の農道に観光客が車を取り入れており、地元住人との事故等を未然に防止するため交通規制や案内板等が必要ではないか。地元の方のご理解のもと、安全安心の持続可能な観光地となっていくことが大切であると考えているが、市の所見を伺う。

**理** 市では、ホワイトザウルス前の交差点、市道から黒原集落へ入る二差路に観光客の方が間違えて進入しないために固定の案内看板の設置費用を9月補正予算案に計上している。景観に配慮する観点から、固定案内看板は2か所にして、間違いやすい場所には、その都度仮設の看板を設置していきたい。

また市の公式ホームページ等で情報提供を行うことで、地域住民の皆様方にご迷惑がからないよう、十分配慮しながら、観光振興を進めてまいりたい。

**議** 成器西小学校南側の勝山市庭球場が改修され、使用者の念願であった人工芝コート4面が整備され、ナイター設備も整っている。

しかし、今夏の暑さが危険の領域を超えて、テニスコートに日よげがないと、練習や試合が満足にできない状態にある。また、防風ネットがその暑さに拍車をかけている。夏の酷暑に対処するため、テニスコート内と審判台に日よげの設置をお願いしたい。市の所見を伺う。

**理** 現在、勝山市庭球場には日よげの場所は無く、大会時には成器西小学校体育館の壁の部分とか、個人的に簡易テントを持参して休んでいるとお聞きしている。他市ではクラブハウスなど整備されている庭球場もある。勝山市庭球場では、残念ながらクラブハウスのような施設を整備できずスペースがないので、簡易的なもので日よげができないか、他の施設などの事例も参考に検討していく。

また、利用者にはこまめな水分補給や休憩等、熱中症対策についても周知を図ってきたい。



# ○ 農業政策について ○ 地域公共交通について



竹内和順 議員  
新風会・公明

### その他の質問

- ・高齢者支援について
- ・介護人材について

**議** 昨年、今年と2年連続の大雨に見舞われ、農地は大打撃を受けたが、その原因は特に河川付近の農業用水路にあると考える。整備されてあった用水路が崩壊、コンクリート構造物で整備されてしまっている。一時しのぎの整備ではなく、抜本的な整備が必要と考えるが、市の見解を伺う。

**理** 昨年8月、本年7月に発生した大雨災害では、農業用水路に流れ込んだ岩、土砂等が堆積するなどの被害も多数発生している。

水稲が水を必要とする本当に大切な時期に発生した緊急事態に、稲の生育に支障が生じないよう、できる限り迅速な取組を実施した。

市内の農業用水路は、昭和時代に整備されたものが多く、全体的に相当老朽化が進んでいる。今後、こういった大雨災害にかかわらず、順次更新が必要になってくると思っている。更新の際には、今回の災害から得た知見を生かし、県営土地改良事業の採択をいただき、再被災防止や機能強化を図ってきたい。

移動できることをどの世代も誰もが願うことと思う。福井県は車中心の社会であり、車がなければ何もできないという思いは強いかと思う。「交通権」を市民の権利と位置づけるならば、「移動の自由」を公共交通が保障する社会を目指すことは重要なことと考える。勝山市の地域公共交通計画の考えを伺う。

**理** 地域公共交通を持続可能なものとするため、フルデマンドバスの路線拡大、自家用有償旅客運送導入の可能性、予定されている新中学校スクールバス運行と整合性を図りながら進めていきたい。

計画中の評価指標でえちぜん鉄道は、観光需要の回復や北陸新幹線福井駅・敦賀駅開業を見据えている。また、コミュニティバスは、利用者増加に向け、今後の観光客の増加やフルデマンドバスの路線拡大を見込んでいく。

ふくい嶺北連携中都市圏においては、新たに各市町間を連絡する公共交通網の構築はできていない。

今後とも利用者に寄り添った公共交通を目指し、利用環境の改善に努めていく。



○ 高齢者のゴミ出しの支援について  
○ 「ふれあいの里・かつやまっ子」すくすく育成奨励金  
の見直しについて

その他の質問

・介護離職を防ぐ「産業ケアマネジャー」の活用について ・「後期高齢者医療制度」の保険料引き上げについて ・令和6年3月16日の北陸新幹線敦賀開業にむけて

下道恵子 議員



市政会

「地域いきいきボランティアポイント事業」についてその登録数やその仕事の中での「ゴミ出し」事業の状況を伺う。

また笛吹市では、市がゴミ出しチケットを発行して自宅の玄関前にゴミを出しておくとしルバー人材センターの方が指定収集場所まで運んでくれるというサービス支援をしているがこの支援について市のお考えを伺う。

市が実施している地域いきいきボランティアポイント事業に、令和4年度は73名のボランティアの登録があり、そのうち、9人の方がゴミ出しボランティアとして活動されている。

今後ますます高齢世帯が増加していく中で、ゴミ出しの要望は増えるものと考えられるので、ほかの自治体で実施している「ゴミ出し補助」について研究していく。

また引き続き、地域いきいきボランティアポイント事業について周知を図り、ボランティア登録者を増やすとともに、ゴミ出しの手助けが必要な方への支援に努めていきたい。

すくすく育成奨励金は勝山市民で保護者と生計を一にする第3子以降の乳幼児を対象に、出生月の翌月末に一律20万円を一括交付するもの。

勝山市は子育て支援日本一を目指し、この奨励金、保育料の軽減、児童センターの無料化、不妊治療の自己負担の全額助成等、支援策の充実を図ってきた。

本年1月から、妊娠時に5万円、出生時に5万円を交付する経済的支援に併せ、面談・相談等の伴走型の支援も開始している。

現在、全ての児童を対象とした新たな子育て支援に係る給付型支援制度の創設に向けて研究を進めている。第3子以降を対象にしているこの奨励金については、全ての児童を対象とした、新たな給付型支援制度に一本化していきたいと考えている。

現在、全ての児童を対象とした新たな子育て支援に係る給付型支援制度の創設に向けて研究を進めている。第3子以降を対象にしているこの奨励金については、全ての児童を対象とした、新たな給付型支援制度に一本化していきたいと考えている。

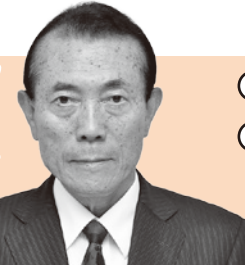


○ 街中に賑わいを取り戻す  
○ 左義長まつりについて

その他の質問

・安全安心なまちづくりについて ・少子化対策について  
・地場産業の振興について

丸山忠男 議員



市政会

はたや記念館ゆめおれ、花月楼、道の駅は、街中誘客に必要だが、責務を果たしているか検証は難しい。担当課として本町商店街を含めて街中に賑わいを取り戻すためにどのような考えを持っておられるのか見解を伺う。

人口減少で、ウィークデイトに中心市街地を訪れる市民は減少している一方、街中を含め市内の飲食店は恐竜博物館を訪れる観光客でにぎわっており、街中誘客が全くできていないわけではない。冬場の落ち込み、ランチタイム等に集中する課題は残っており、課題の洗い出しや、商業施設出店促進事業補助金等による支援を行っていききたい。

また、事業者の実情に合わせた新たな支援策を研究し、民間事業者の取組と相乗効果で街中の賑わいにつなげたい。

コロナ禍で左義長もなかなか完全にできなかったが、先般の神明神社のお祭りなど大勢のお客様があった。そういう意味で改めて街中の機能について議論をしていく時期が来ていると思っている。

勝山市にとって左義長まつりは伝統文化の面からも観

光面からもその存在価値は大きなものがある。一方、左義長まつりを開催するには、ドンド焼きのワラの確保から、短冊吊りやご神体作り、太鼓や三味線、笛の奏者、川柳や短歌、作り物等といった具合に多くの準備が必要。現在櫓を守る12区の半数の区長が世帯数の減少を理由に、まつりの存続が難しくなっていると述べている。行政と実行委員会が中心になり、小学校、教育委員会、櫓を持たない地区も一緒に考えて考えなければならぬ時期に来たと思われ

勝山左義長まつり実行委員会では、左義長地区以外で左義長ばやし講習会を開いたり、担い手不足で応援団体を受け入れた地区に奨励金を交付する制度を設け、運営やおはやしに継続して参加できるように取り組んだりしている。

左義長ばやし保存会や実行委員会のお客様であったが、先般の神明神社のお祭りなど大勢のお客様があった。そういう意味で改めて街中の機能について議論をしていく時期が来ていると思っている。

勝山市にとって左義長まつりは伝統文化の面からも観

加えられるよう、市としても支援していく。



森かよ子 議員  
優政一心会

○ 学校に居づらさを感じる生徒について  
○ 地下通路について  
○ 花月楼について

その他の質問

- ・ 中学校再編計画の生徒の登校について
- ・ 校舎配置計画について
- ・ 地域いきいきボランティアポイント事業について

**議** 新中学校への登校時に高校生も同じスクールバスに乗ると、中学生はストレスがかかり、それによって不登校が増えると考えられる。現在不登校は何人いるのか。さらに増えた場合の対応を伺う。

**理** 冬季の地下通路は入口付近の凍結のおそれがあるが、どのような対応をするのか伺う。

**議** 不登校の生徒は、8月末の時点で市内3中学校の人数の合計が21人。

現在、教室に入りづらい児童生徒のための支援に加え、新規の不登校児童生徒を生み出さないことが重要と考え、全ての子どもが学校に来るのが楽しいと思えるような魅力ある学校づくり、分かる授業の実践、子どもの主体性を育てる活動の充実、ポジティブ教育の充実などのほか、近接する奥越特別支援学校との連携を強化して、専門的な見地からの助言・支援を充実する体制を構築したいと考えている。

さらに、新中学校の建設にあたり、不登校の生徒のための相談室を複数設けたり、玄関ではない別の場所から、学

校に入るような動線を整備したりするなど、施設面においても不登校生徒に配慮した整備を検討している。

地下通路については、出入り口の止水設備の整備、雨や風雪の吹き込みを防ぐ対策、床の素材や排水設備、内装などに十分考慮した設計とするよう検討していく。

**議** 平成29年に「食と文化の駅」をコンセプトに花月楼がお食事処としてスタートした。当初は花月楼の2階にある傘天井を有形文化財として活用されていたが、現在、十分活用されていないのではと残念に思う。

**理** 食事をしなくても傘天井を見学できるのか伺う。

**議** 傘天井は、2階に座敷の予約や、お客様が入っていないときは自由に見ていただく。お食事をしていただく必要もないと聞いている。

ただ、自由に見学ができるという情報の表示、周知について不足をしていると思うので、施設を所有しているDMO勝山市観光まちづくり株式会社、周知、表示をお願いしていきたい。



浦上雄次 議員  
優政一心会

○ 中学校再編計画について

その他の質問

- ・ 高齢化社会に向けた取組について
- ・ 令和6年4月1日からスタートするプラスチック資源分別収集について

**議** 中学校再編計画について全市民の意見を100%反映させるのは不可能だとは思いますが、一統合再編には賛成だが、今の建設内容には反対だ」という意見がある。市内3つの中学校が1つになるという歴史的な瞬間に対して、市民の意識が高くなっているのは間違いのないし、勝山市の未来にも大きく関わってくる事だと考える。最後まで市民の声を大切に拾いあげていきたいが、来年の建設予算を決める前に年内に今一度、市民全員にアンケート調査を開き賛成、反対、建設内容の見直しについての結果を調査してもらいたい。

3つの中学校は取り壊しになるのか。

ジオアリーナは市民と学校が共有できるのか。市の見解を伺う。

**理** 勝山市の小中学校の望ましいあり方検討委員会が設置されてから約20年にわたり、市内の小中学校の今後の方向性について協議を重ねてきた。令和4年3月に勝山市立中学校再編計画を策定し、本年3月には建設基本計画を策定した。併せて設計予算を認

めていただき、基本設計の策定に取り組みとともに、新中学校の開校に向けた準備を進めている。これまで積み重ねてきた協議の重み、現在の状況を踏まえ、市民の皆様へ再編の是非を問うアンケートの実施は考えていない。

今年度は、5月から小中学校の教職員、中高の生徒会、市内の全中学生と語る会など積極的に会い、開校に向けた期待や不安、要望などを聞いていく。子どもたちや教職員の意見を反映できるよう取り組むとともに、新中学校開校に向けた準備の進捗状況などを市のホームページや広報で随時細かくお知らせすること、理解が広がっていると感じている。

3中学校の跡地の活用については、本年度から庁内全体で検討を始めている。現時点では具体的な案を示す段階には至っていないが、勝山市の考え方を整理し、市民のご意見をお聞きしながら、検討を進めていきたい。

ジオアリーナ等は使用計画を検討する中で互いに調整しながら有効活用できるようにしていきたい。



○ 勝山市の保育料について  
○ 長尾山総合公園について



市議会  
帰山 寿憲 議員

議 一部負担の残る、保育料を完全無償化してはどうか。

理 本市は子育て支援日本一をスローガンに掲げ、保育料についても常に県内のトップクラスを目標に軽減策を進めてきた。

本市の保育料徴収の現状は、3歳以上児については完全に無償化。3歳未満児については、第1子住民税非課税世帯のみが無償。第2子は世帯収入640万円未満の世帯が無償。第3子以降は世帯年収に関係なく完全に無償となっている。福井県では、令和6年9月から第2子以降は世帯年収に関係なく完全無償化すると発表されている。

これが施行されると、来年9月からは3歳未満児の第1子の住民税非課税世帯以外の児童だけが保育料無償化の対象から外れることになる。保育料軽減策は、子育て支援という観点から長年進めてきたが、少子化対策という観点から更に充実する必要があると考える。来年9月の福井県の制度拡充に併せ、さらに制度を拡充し、市内全就学前児童の保育料完全無償化について前向きに検討したい。

議 園内工事の進捗に伴い、園内の君原健二ロードをどうするのか、また、2期エリアの取得にむけての状況、及びP2事業の進捗状況を伺う。

理 現在進めているP2事業では宿泊施設整備予定箇所周辺も君原健二ロードのコースの一部となっているため、代替ルートを設定することでご利用いただけるよう、工事事業者や指定管理者と協議を進めていく。

2期エリアの活用については、P2事業の公募条件でも提案を可能とした。事業者から現在、具体的な提案はないが、将来的には自然を生かした体験施設など様々な可能性を協議していきたい。

市が長尾山総合公園でP2事業の公募をした際、ホテル、レストラン、遊戯施設の3つはしていたきたいという公募条件だった。特にホテル事業が投資額も大規模になる中、市としてもホテルを最優先で進めている。この3つを軸に、場所等もエリアは大体決まっているが、具体的な場所等示されていないところがあるので、しっかりと協議を進めたい。



○ 100年に一度のチャンス  
○ 観光戦略について



新風会・公明  
松山 信裕 議員

その他の質問

- ・来訪者への対応と夏の行事について
- ・福祉政策について

議 勝山市は、100年に一度の大きなチャンスを迎えている。今年は恐竜博物館のリニューアル、来年には北陸新幹線開業、令和7年は平泉寺の御開帳、令和8年は中部縦貫自動車道の開通、県立大学の開校、星野リゾート、令和9年は新中学校の開校とビッグプロジェクトが次から次に計画されている。このような劇的な変化をどのように捉え、各事業対策に取り組んでいくのか伺う。

理 高速交通網の整備は天の時、恐竜資源が出てきているのは地の利だと思っっている。市内の観光事業者、まちづくり関係者、福井県、近隣市町の人の和が揃っている。こういったことが、100年に一度のチャンスと考えている。恐竜以外にも、白山平泉寺、スキージャム勝山、ゆめおーれ勝山など、文化施設、観光施設がしっかりと整備されている。この観光誘客、周遊観光の促進によって、地元経済の好循環が生まれるよう、観光の産業化を図りたい。観光資源をさらに磨き上げ、若者のふるさと帰郷、移住促進にも生かしていきたい。

議 社会情勢を視野に入れた勝山市の観光振興ビジョン策定に向けた進捗状況を伺う。観光資源の活用と、多様化する観光客へのニーズ対応から、着地型旅行商品の開発と旅行業の取得をすべき。

理 勝山市観光振興ビジョンについては、観光を取り巻く環境の変化に対応した計画、将来像が必要であると考えており、進捗状況としては、素案が出来上がりつつある状況。今後、早急に素案を固め、勝山観光戦略協議会にて意見を伺い、原案を策定し、本年中には新しい勝山市観光振興ビジョンをお示しできるように取り組んでいく。

勝山市観光まちづくり株式会社は旅行業の資格を有するスタッフが退職し、法人としての旅行業の登録はない。今後の北陸新幹線の福井開業や中部縦貫自動車道の県内全線開通により、観光客の増加が見込まれる中、着地型旅行商品を企画・販売することが必要だと考えている。旅行業の登録についてもDMOが意欲的であると聞いており、市としても、DMOの取組に期待している。



○ 子供たちの遊び場の整備について  
○ ヤングケアラーについて

その他の質問  
・高齢者の交通手段について

新風会・公明  
吉田将克  
議員



議 子供のインドア化が社会問題として取り上げられており、これは公園の遊具を撤去したり、公園をなくした結果、子供たちの遊び場を奪うことでインドア化につながっている。公園がない地区についての勝山市の今後の取り組み方針を伺う。

議 勝山市の子供たちはヤングケアラーを認知しているのか伺う。  
また、子供たちにアンケートを取る等ヤングケアラーの把握状況を伺う。  
さらに、ヤングケアラーへの支援状況について伺う。

理 現在、勝山市が直接管理する公園は、市内に31か所ある都市公園と、2つの緑地となっている。これら都市公園の遊具は、職員が日常点検を行い、不具合箇所の早期発見と補修により安全性の確保に努め、点検結果を公園長寿命化計画に反映し、計画的な施設改修を実施している。

理 市では、市内の小中高等学校等にポスター、リーフレット等を配布し啓発している。早期にヤングケアラーを発見し、支援につなぐため、子育て世代包括支援センターなど、多様な相談窓口を設け、身体的・精神的に困っている子どもたちの把握に努めている。また、学校でも、日々児童生徒の表情や様子を観察し、学期ごとに教育相談週間を設け担任やスクールカウンセラーと面談を行っている。

一方、都市公園がない地区では、自治会が神社の境内等に遊具を設置し、地区の公園として維持管理されてきた。しかし利用者の減少や老朽化で維持管理が困難な遊具は、各地区で市の遊具撤去補助を利用して撤去いただいている。現在、市として新たな遊具の設置補助はないが、コミュニティ助成事業のメニューに地区の遊具設置があるので、地区でのご活用をご検討いただきたい。

気がかりな家庭はある程度把握しており、福祉、介護、医療、教育といった分野が連携し、情報共有やケース会議、家庭訪問などを行い支援をしている。こども家庭庁では、子どもの年代に応じた的確な支援を行うために、実態調査を行うとしており、動向を見ながら、支援のあり方についても研究をしていきたい。



○ 新中学校を勝山高校の敷地内に併設することについて  
○ 開善寺と義宣寺などを活用した旧勝山町の復興について

その他の質問  
・図書館と市史編さん室の合併について  
・人口減少対策としての移住・定住の促進について

優政一心会  
富士根信子  
議員



議 市民から「なぜ、新中学校を勝山高校の敷地内に併設するのか」との不安や反対されている声があるが、教育委員会にはどのような声が届いているのか伺う。

議 開善寺は現在無住寺だが、小笠原氏の菩提寺であり、場所は市の指定文化財である。  
福井工大の勝山市文化財保護審議員の先生が、本堂の屋根の損傷が激しく早く保存活用を図ることが大事だと話された。また旧城跡に小笠原氏が城を建て義宣寺も大切に守ってきた。開善寺と義宣寺を一体とらえ、この両寺を核として旧城下町の武家地の代表的建築物として旧勝山町の復興を考えてはどうか見解を伺う。

理 昨年7月から4会場で行った市民説明会、今年1月から10会場で行った子ども子育て保護者説明会、同じく1月に行った建設基本計画のパブリックコメントの中では、新中学校に対して不安や心配に感じることで、人間関係に関するもの、施設に関するもの、スクールバスの運行に関わるものなどの意見をいただいている。今年度、小中学校の教員、全ての中学生と語る会で直接意見を聞いていくが、中学生から同様の声がある一方、期待や、施設設備、教育内容をより良いものにする要望をたくさんいただいている。

理 旧勝山町域の歴史や文化を知る取組として、市の文化財関連施設での展示をはじめ、講演会、見学会、市民総合大学などを通じて、地域の貴重な歴史・文化について知っていただき、学んでいただくような取組を進めていきたい。本家勝山小笠原の会の方にも、開善寺を中心しながら、ほかの歴史文化遺産と連携を図るとともに、これまでの活動をさらに広げていただき、1人でも多くの市民の方に貴重な歴史・文化を知っていただく機会を地元の方と一緒に実現して取り組んでいきたい。

議 新中学校は勝山の未来における最重要課題。唯一の中学校を建設するのならば市民の意見を聴き、その声に耳を傾けて、その是非に対する市民の対話集会をはじめ検討委員会や議会での検討を提案する。

議 開善寺は現在無住寺だが、小笠原氏の菩提寺であり、場所は市の指定文化財である。  
福井工大の勝山市文化財保護審議員の先生が、本堂の屋根の損傷が激しく早く保存活用を図ることが大事だと話された。また旧城跡に小笠原氏が城を建て義宣寺も大切に守ってきた。開善寺と義宣寺を一体とらえ、この両寺を核として旧城下町の武家地の代表的建築物として旧勝山町の復興を考えてはどうか見解を伺う。



○ 山林管理の視点からの自伐型林業  
○ 勝山市役所周辺施設のファシリティマネジメント(案)について

その他の質問

- ・地域おこし協力隊の現状と展望について  
・中学校再編計画について



李 江嵐 議員  
優政一心会

議 ①昨年に続き今年も大雨の影響で市内各地で災害が起きた。そのような状況下で、実際に環境保全型とも言える自伐型の作業道が整備されている山を視察された感想とGISシステムの有効活用化について伺う。

理 ②森林環境譲与税の活用方法として福井市で取り組んでいるような環境負荷の少ない作業道整備や重機のレンタル、山林管理に必要な道具に対する制度を設けることは非常に有効だと考える。支援事業の整備を検討いただきたい。

議 ①大雨が降った後確認をしたが、自伐型により整備された作業道はほとんど被害を受けなかった。今後の山林の整備にあたっての1つの考え方だと思つた。

理 GISシステムについては、今年度から当市でも利用可能となったため、効果的に活用していきたい。

議 ②福井市の補助メニューを含め、他の市町の補助メニューも参考に、当市の森林状況や林業事業者の意向に沿った支援を検討していきたい。

議 公共施設の削減が課題と

なる中で、教育会館をこども会館化する計画が持ち上がっている。あわせて全天候型遊び施設を作る案があるが、アクセスも良く人びとの目にも止まりやすい場所に作るべき。まちづくりの観点として市外観光客にも勝山の子育ての取組を知ってもらう場所としても効果が期待できるような作って欲しい。国道沿いのロードパーキングにより良い遊び場施設を作る方法もある。子ども関係部署はすこやかに集約し、教育会館は高齢者対応と文化・歴史の発信を中心とした方が利がある。すこやかと市役所周辺を行き来する手間を無くすメリットもある。所見を伺う。

議 今回整備を予定している全天候型子ども遊び場は観光誘客を目的としていない。子どもに関する政策を教育委員会に集約し、一元的に担当する部署としてこども課を設置した。教育委員会に子ども政策を一元化し就学前児童の小学校へのスムーズな移行、小学校と児童センターとの連携強化で、保護者の不安の解消を目指すものであり、子ども関係部署のすこやかへの集約は考えていない。



○ 災害復旧工事について  
○ 市内交通手段について

その他の質問

- ・道の駅「恐竜渓谷かつやま」の駐車場について  
・窓口業務について



近藤 栄紀 議員  
市政会

議 災害復旧事業は原形復旧工事が基本と聞いているが、それに加え再度災害防止を図る改良復旧工事があるが、昨年度の復旧工事計画はどうであったか、今回の復旧工事計画はどのように考えているのか。

理 原形復旧だけでは十分な災害対策が発揮できない場合、災害改良復旧事業にて施設機能の強化を行うことができるとされているが、この事業は事業の採択を受ける際の要件のハードルが高く、県内では過去に数件ある程度。

しかし、県関連災害復旧事業である皿川の荒土町伊波地係では、奥越土木事務所が災害復旧事業とは別に緊急自然災害防止対策事業を活用し、堤防高上げを進めていただいている。伊波地区では農業用取水施設の位置・構造が浸水被害につながった可能性が高く、市として設置位置の変更を含む施設改良工事について、奥越農林総合事務所と協議をしている。また、野津又川においては、奥越農林総合事務所が復旧治山事業などを活用し、新たに治山ダムを4基整備していく計画。

フルデマンドバスの拡充、勝山・大野線の運行の確保、令和9年4月の新中学校の開校に併せたスクールバスの運行、これらをふくめた、車両及び乗務員の確保をどのように考えているのか。

理 フルデマンドバスの運行状況については、利用者数が増加し、便利になったという声がある。現状分析と研究を進め北郷方面及び野向方面以外への導入を検討していく。広域路線バス勝山大野線は、運転手不足を理由に、他の交通事業者を引き継ぎ、撤退したいとの申し出があった。現段階では地元事業者との合意には至っていない。

スクールバスについては、再編準備委員会のPTA部会において最大12ルートを想定して検討している。必要となるバスや運転手の確保のため、公共交通の活用も視野に入れる必要もあると考えており、バス会社との調整等も検討していく。バス通学の対象生徒を15キロメートル以上としたこと等で大型のバスが必要になることも想定され、この場合、国の補助金等の活用も検討していく。

フルデマンドバスの拡充、勝山・大野線の運行の確保、令和9年4月の新中学校の開校に併せたスクールバスの運行、これらをふくめた、車両及び乗務員の確保をどのように考えているのか。





山田安信  
議員  
日本共産党



- 中学校を勝高敷地に建設する計画の凍結と再検討を求める市民の声について
- スキージャムが核施設のリゾート事業から、東急不動産が撤退する問題について

**議** ①署名が有権者4割7500筆を突破し、過半数をめぐらしている。教育長は、署名が提出されたら考えられると言われたが、「考える」の意味は「聞くだけで計画は変えない」のか「勝高敷地に限定しない変更も含める」のか見解を問う。

**理** ②新しい議会は、市民の声を受け止めようとの変化が始まっている。それでも市長と教育長は、勝高敷地の計画に固執するのか。

**議** ①市議会をはじめ、長年にわたる協議の積み重ねの中で準備を進めている。反対の声に対しては、子どもたちにとって魅力のある学校作りや、身につけさせたい資質能力をしっかり育む特色ある教育内容等協議し、今後市議会にお諮りしてご意見等をいただき、様々な機会で周知を図り、ご理解いただくよう努める。

**理** ①市議会をはじめ、長年にわたる協議の積み重ねの中で準備を進めている。反対の声に対しては、子どもたちにとって魅力のある学校作りや、身につけさせたい資質能力をしっかり育む特色ある教育内容等協議し、今後市議会にお諮りしてご意見等をいただき、様々な機会で周知を図り、ご理解いただくよう努める。

**議** ①署名が有権者4割7500筆を突破し、過半数をめぐらしている。議論のすり替えになっていることは指摘しておく。

**議** ①第三セクターの株主総会で、東急不動産から保有株式を売却すると説明されたそうだが、株式の売却を市長は認められたのか。

**理** ②昭和63年に福井県、勝山市、東急不動産などが締結した「合意書」や「協定書」などで県と市と東急不動産の役割と責任が決められている。東急不動産の保有株式の売却は、これらの約束を破ることになる。「合意書」や「協定書」などを「変更または廃止」したのか、当初の内容どおりに維持されているのか説明を求める。

**議** ①東急不動産が所有する勝山高原開発の株式を他企業に譲渡することは東急不動産としての経営判断であり、市の同意は必要ないと考えている。ただし、市長と福井県の中村副知事が、東急不動産本社に向いた際に、引き続き一部だけでも株式が所有できないか等申し入れた。

**理** ②市のほつで変更も廃止も行っていないし、行えるものでもない。

## 常任委員会報告

### 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案5件について全て可決し、陳情2件を不採択としました。

#### ◆新中学校建設開校に向けた進捗状況について

これまでの再編準備委員会の進捗について、校名募集の状況、制服・体操服アンケート、各種語る会の状況について説明がありました。委員からは、市民アンケートの実施を求める意見や、制服の選定、給食の方式決定などの際に、この学校に行きたいと思ってもらえるような魅力が必要という意見など、様々議論しました。

理事者からは、今後とも市民に開校に向けた準備の進捗などの周知に努め理解を求めていくことや、子どもたちのために、よりよい学校、魅力ある学校になるよう、取り組んでいきたいとの回答がありました。

#### ◆プラスチック資源の分別収集について

勝山市では、令和6年4月1日からプラスチック資源の分別収集を開始することの説明がありました。

委員からは、資源ごみの収集日を再検討すること、一旦燃えるごみに移行した経緯もあり、回収する品目、ステーションに出す際の注意事項など、わかりやすく説明し、トラブルにならない対応を求めました。

理事者からは、10月以降に地区単位で住民説明会を行うが、それまでに資源ごみの回収日程を再検討すること、対象品目をイラスト等でわかりやすく説明すること、分別する目的をしっかりと説明していくことなど説明がありました。



建設産業委員会

審査の結果、議案5件について全て可決し、陳情1件を採択、1件は継続審査としました。

◆ 勝山市下水道事業特別会計補正予算 (第2号)

・勝山市公共下水道事業計画変更(雨水)にかかると計画設計業務委託について

これまでの雨水計画箇所には入っていないなかった昭和町2丁目地係を新たに区域を追加し、計画策定を行いたいとの説明がありました。

これに対し委員からは、当初の雨水計画のエリア外だった事に疑問があるとしつつ、昨今、頻りに浸水の発生が起こっていることを踏まえ理解するとの意見があり、採決の結果、原案が可決されました。

◆ 勝山市都市計画審議会条例の一部改正について

勝山市都市計画審議会の委員定数を見直し、減員する改正について委員からは、他市の状況や人口割りにより効率化を図ることを主たる目的とせず、今後も、勝山市都市計画の理念や合理性、地域性を維持し進めていくように、との意見が出されました。

採決の結果、原案が可決されました。

予算委員会

◆ 公共施設の集約化「ファシリテイ マネジメント(FM)」について

公共施設の集約化の中で行政事務の効率化も図るために建設課・宮繕課・上下水道課を市民会館から市役所に移設します。3月議会を経て、市では教育会館と市民会館に係る50団体に對し丁寧な聞き取りを行った結果、市の計画に賛成意見が多くありました。子育ての観点からは保育士からも意見聴取を行いました。団体等にはそれぞれ市の計画を伝え、自由に意見を伺ったとのことです。

**委員** FM計画の中で市民会館の空いたスペースは貸館利用するというが、行政事務効率化としてだけでなく、すこやかと教育会館と市民会館が関係するFM計画の議論も含めて進める必要がある。市の計画を伝える際は、1つの計画内容だけでなく様々な視点を持てるよう複数の案を提示し、議論の余地を残した聞き取りをするべきだ。市民会館に3つの部署が移動した時は手狭だと言っていたが、改善されたのか。

**理事者** FMと子ども会館、行政事務の効率化は別で考え、移ることだけ議論して欲しい。来年度からデスクトップPCがノートPCになる。図面の作成も書ききからCADになっており、省スペース化が可能になった。教育会館は子ども会館と完全に決まった訳ではない。

**委員** 今回3つの課を市役所に持っていくのはわかるが、FMには関係している。すこやかを遠くに建設した経緯を見てもFMについてはしっかりと議論していくべきである。

◆ 結婚新生活支援に係る補助事業の実施について

夫婦ともに39歳以下で、世帯所得が500万円未満、申請時から3年以上継続して本市に定住する旨の誓約をしていることなどを条件に支援制度が始まります。

① 新生活支援事業補助金

結婚し新生活をする夫婦の住宅取得・家賃・リフォーム・引越越し費用が支援されます。

夫婦ともに30歳から39歳以下の場合：30万円  
夫婦ともに29歳以下の場合：60万円

② U29結婚新生活支援金

市内で結婚し新生活をスタートする夫婦の経済的負担を軽減する(使途制限なし)ため次のとおり支援されます。

夫婦の一方が29歳以下の場合：30万円

夫婦の一方が25歳以下の場合：10万円加算

**委員** 3年以内に転出した場合どうなるか。

**理事者** 返還してもらうことになる。

**委員** 再婚の場合は、対象になるのか。

**理事者** 対象になる。(補助実績がない場合)

◆ 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

勝山市では、平日は各学校にて部活動を実施し、週休日(主に土曜日)の半日は、地域移行の受入れ環境が整った男女バドミントン、男子バレーボール、陸上の3競技団体4種目を委託しています。

**委員** 他の競技団体も追加することは可能か。

**理事者** 可能であることから、現在、他の競技については各団体に接触中である。

**委員** 文化クラブは可能か。

**理事者** 可能ではあるが、勝山市内に指導を

受けてもらえる団体がない。

**委員** 複数学校の合同チームで中体連主催の大会に参加できるが、地域スポーツクラブは参加できるのか。

**理事者** 令和5年度から中体連主催の大会に地域スポーツクラブ(団体)も参加可能となり、男女バレーボール、水泳、相撲、ソフトボール、柔道はクラブとして大会に参加した。

### ◆令和5年7月大雨災害の報告について

昨年に続き勝山市内で発生した水害に対して、過年度分と現年度分の被害に遭った道路、河川、農地、林道で行われた工事費や被害箇所について理事者から説明がありました。

道路河川の被害については新規に被害を受けた箇所と昨年8月の復旧作業中に再度被災した箇所を合わせて36箇所となりました。

農業関係の被害は勝山市内で100箇所になり、今年は北郷、鹿合でも被災があり、昨年比べて範囲が広がっています。

**委員** 災害が続いている。起きてからではなく、起きる前の対応をお願いしたい。

**理事者** 今後の災害に対応出来るように研究していく。

災害対策については事前に協議しながら市民の安全に取り組んでいく必要があります。

### 予算額

道路復旧	3億1,146万1,000円
河川復旧	5,351万3,000円
農業関係	2億7,044万1,000円
林道復旧	2億3,416万9,000円

※過年度、現年度の合計。

皆様の温かい心により災害ボランティアも怪我なく無事終わることができました。沢山のご協力を頂きました、心から感謝いたします。

## 定例会審議結果一覧

★ 議員提出議案

■ 表決を行ったもの

### ◆ 議案等

議案番号	議案名	付託委員会	議決結果
議案第19号	令和5年度 勝山市一般会計補正予算(第4号)	予算	可決
議案第20号	令和5年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	可決
議案第21号	令和5年度 勝山市介護保険特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	可決
議案第22号	令和5年度 勝山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	建設産業	可決
議案第23号	令和5年度 勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	建設産業	可決
議案第24号	令和5年度 勝山市水道事業会計補正予算(第1号)	建設産業	可決
議案第25号	猪野瀬まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第26号	火災予防条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第27号	勝山市都市計画審議会条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第28号	損害賠償の額を定めることについて	総務文教厚生	可決
議案第29号	勝山市都市公園条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第30号	勝山市公平委員会委員の選任について	-	同意
議案第31号	勝山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	-	同意
議案第32号	勝山市監査委員の選任について	-	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	異議がない
認定第1号	令和4年度 勝山市歳入歳出決算の認定について	決算	継続審査
認定第2号	令和4年度 勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算	継続審査

### ◆ 請願・陳情

受理番号	要旨	付託委員会	議決結果
陳情第4号	陳情書(市道10-62号線 変更認定にかかる陳情)(比島区)	建設産業	採択
陳情第5号	四半世紀に及ぶ1日平均1万人以上の乗客の新幹線敦賀駅での乗換えをやめ、新幹線大阪延伸完成まで、現行の特急「サンダーバード」「しらさぎ」を存続させるよう国に対し、意見書を提出することを求める陳情	総務文教厚生	不採択
陳情第6号	健康保険証廃止の中止を求める陳情	総務文教厚生	不採択
陳情第7号	陳情書(市道7-191号線 市道認定と道路整備にかかる陳情)(昭和町)	建設産業	継続審査

### ◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議案番号	総投票数	投票数		李江嵐	吉田将克	浦上雄次	森かよ子	安岡孝一	富士根信子	竹内和順	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	帰山寿憲	山田安信	下牧一郎	
		賛成票	反対票															
議案第19号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
陳情第5号	13	4	9	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	議長
陳情第6号	13	3	10	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	議長

○=賛成、×=反対、-=不在、議長=議長職(通常は採決に加わらない)



## おしんめさん御前相撲

「おしんめさん」として親しまれる神明神社で勝山3大まつりの1つである秋の例祭が9月17日神輿渡御祭、18日本祭、19日後祭と3日間にわたり斎行されました。コロナの影響で4年ぶりに通常規模で行われたお祭りでは、町内をお神輿が巡り、以前より少ないながらも本町通りに屋台が並び、たくさんの参拝者が楽しみました。



2014年開催時の様子

長らく例祭を賑わせた「御前相撲」とも呼ばれる奉納相撲は、元はお殿様の前で行われ300年以上続く行事でした。しかし4年間行われなかったことが担い手不足を助長し、昭和40年代から御前相撲を担っていた相撲協会がなくなってしまいました。長く続いた伝統が途絶えてしまっている状況が唯一の心残りでした。いつの日か御前相撲も復活してくれることを楽しみにしつつ、お祭りの賑わいに心を躍らせた秋のお話でした。  
(李 江嵐 記)

## 議会日誌

8月 3日 国道157号整備促進期成同盟会定例総会	10月 1日 赤い羽根共同募金街頭キャンペーン
9日 福井県市議会議長会定期総会	北陸新幹線福井駅 試験車両入線セレモニー
22日 福井県市議会議長会 県要望活動	2日 勝山市表彰審査委員会
26日 福井県戦没者追悼式	第2回ジオパーク推進協議会
30日 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会 勝山市林道愛護組合連絡協議会総会	3日 国道416号小松・勝山間整備促進期成同盟会 令和5年度定例総会
9月 1日 臨時会、各常任委員会、議会運営委員会	7日 すこやかフェスタ兼社会福祉協議会会長表彰式
12日 本会議、全員協議会	10日 決算特別委員会
19日 本会議（一般質問）、議会運営委員会	11日 議会広報特別委員会
20日 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会	13日 秋季消防訓練
21日 秋の交通安全県民運動 総務文教厚生委員会	16日 議会広報特別委員会
22日 建設産業委員会	17日 福井県市議会議長会 中央要望活動（東京都） 全国高速自動車道市議会協議会（東京都）
24日 市内駅伝大会	18日 決算特別委員会
25日 予算委員会	20日 市町議会議員合同研修会
26日 議会運営委員会、決算特別委員会、議会広報特別委員会	21日 中部縦貫道ハイウェイウォーク&ライド
29日 議会運営委員会、全員協議会、本会議、建設産業委員会	22日 2023年度日本ジオパーク再認定審査 勝山産業フェア、市表彰式
	25日 決算特別委員会

## 編集後記

今夏の市議会議員の改選にて、議員定数も2名削減し、14名の新体制で9月定例会がスタートしました。常任委員会をはじめ、各種委員会の構成も決まりました。議会でもこれまで盛んに議論してきた新中学校については、新中学校建設特別委員会を設置し、議員全員で審査していきます。一人でも多くの市民の皆様手に取って、読んでいただける議会広報を目指し一般質問動画のQRコードも加えました。どうぞよろしくお願いたします。  
(丸山 忠男 記)

### 《議会広報特別委員会》

委員長 丸山忠男 副委員長 李 江嵐 吉田将克 浦上雄次 富士根信子

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会〈URLアドレス〉<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

〈Eメールアドレス〉[gikai@city.katsuyama.lg.jp](mailto:gikai@city.katsuyama.lg.jp)



議会中継動画



Facebook